



<p>た一個 め人別 のひ目 基と標 礎り3 とが な個性 力と能 育力を 成を し発揮 する</p>	<p>児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。</p>	<p>①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>3</p>	<p>以下の児童アンケートから評価する。</p> <p>&lt;児童アンケート&gt; 「授業の内容が分かる。」の質問に肯定的に回答の割合</p>	<p>4: 90% 以上</p>	<p>・児童アンケートの肯定的な回答の割合……94.0%</p> <p>・基礎的・基本的な学習内容の定着が図られていると言える。 ・定着が十分でない児童に対しては個別の支援を行い、分かることを一つずつ増やしていく。 ・授業計画の見直しと児童の学習意欲を引き出す授業改善を図り、発展的な学習と補充的な学習の双方を充実させていく。</p>	<p>A</p>	<p>10</p>	<p>・先生方のきめ細やかな対応や支援の工夫に改めて感謝申し上げます。一人ひとりへの支援において、地域の大人たちがサポートできることがあるか、先生方の負担軽減の観点から検討してみても良いかと思いました。</p> <p>・指先、手足、体を使って指示や説明されたことを体現するのが苦手な子どもが少なからず見られ、準備や前段階で時間がかかることが多い。先生方は指示を出すのに苦労するだろうと思う。本当に基本的な体験活動をもって増やすことができたとも思う。</p> <p>・児童一人ひとりの意欲や実態に応じた支援の工夫が、今後の課題として挙げられると感じます。</p> <p>・学習に対する意欲を持ち続けさせることは、大変なことと思います。児童一人ひとりと向き合う時間もなかなか取ることにはできない中でも、興味をもったことを伸ばしてあげることができれば、意欲の向上につながると思います。</p> <p>・児童の教育の中でも大切な情操や道徳心は、将来を担う子どもたちにとり、現在一番必要なことであると思います。そこで、「学校いじめ防止基本方針」の教育もしっかり受け、心身共に生活習慣の確立は将来にとり、大変重要なことと思います。また、そのきめ細かい教育と小・中・高の一貫教育が生きた力となることと思います。</p>			
		<p>②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>			<p>3: 80% 以上</p>					<p>B</p>		
		<p>③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>			<p>2: 70% 以上</p>						<p>C</p>	
		<p>④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>			<p>1: 70% 未満</p>							<p>D</p>
<p>学個 校別 力目 ・標 教4 師力 を向 上さ せま す</p>	<p>校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。</p>	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>3</p>	<p>以下の保護者向け学校公開アンケートから評価する。</p> <p>&lt;保護者向け学校公開アンケート&gt; 「児童にとって、授業の内容が分かるように工夫されている。」の質問に肯定的な回答の割合</p>	<p>4: 90% 以上</p>	<p>・保護者向け学校公開アンケート（1学期と2学期）の肯定的な回答の割合の平均……99.1%</p> <p>・教師による授業の工夫について、評価をいただいた。授業力の向上は、教師の本務であり、引き続き研鑽に努めていく。 ・今後とも、教材研究に力を注ぎ、児童にとって分かりやすい授業・楽しい授業を実践していく。</p>	<p>A</p>	<p>10</p>	<p>・児童、教師、保護者がより身近に関わり合い、互いに理解を深めながら、共に子どもたちの成長を支えていける関係づくりができると授業力の向上にもつながるのではと感じます。</p> <p>・先生方も研修などに参加し熱心に学んでいらっしゃるの、その内容などを保護者や地域住民へ伝えられる機会があれば良いと思う。（学校だより等）</p> <p>・真面目で一生懸命な児童の皆さん、そしてその児童を育ててくださる校長先生始め副校長先生、教職員、関係者の皆さんには、OJTによる教師の皆さんのモチベーションがあがる環境づくりを含め、しっかりその体制づくりに感謝します。</p> <p>・教員や自分の専門性を生かしており、授業内容が工夫されていると感じる。</p> <p>・心のある教育・姿勢によって、心ある子どもたちが育っているように感じます。先生方の自己研鑽、ありがとうございます。頑張りすぎず、頑張ってください。</p>			
		<p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>			<p>3: 80% 以上</p>					<p>B</p>		
		<p>③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。</p>	<p>4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。</p>			<p>2: 70% 以上</p>						<p>C</p>	
						<p>1: 70% 未満</p>							<p>D</p>

<p>た自個 め分別 のら目 学し標 びく5 をいき 支援し ますと 生きる</p>	<p>困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるときととも、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。</p>	<p>①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>3</p>	<p>以下の保護者アンケートから評価する。</p> <p>&lt;保護者アンケート&gt; 「学校は、いじめを未然に防止するため取組を行い、発見した場合は、適切な対応をしている。」の質問に肯定的な回答の割合</p>	<p>4: 90%以上</p>	<p>4</p>	<p>・保護者アンケートの肯定的な回答の割合……93.2%</p> <p>・引き続き、いじめを未然に防ぐ取組を行っていく。また、軽微ないじめも見逃さずに取り上げていく早期発見にも注力していき、いじめを解消するまで対応を継続させていく組織的な対応を今後も行っていく。</p> <p>・再発防止に努めるとともに、少なくとも3か月の見守りをもって、いじめの解消について判断していく。</p>	A	<p>10</p>	<p>・いじめへの組織的な対応ができていると先生方が評価されている点が特に素晴らしいと思います。あくまで外部の目線ですが、いじめ等のトラブルは、学年や学級によってかなり様相が異なるように感じており、そういったことに対応する先生方が孤立を感じないことがとても大事と思ったためです。</p> <p>・「スクールカウンセラーとの連絡の取り方が分からない。」「予約がいっぱいで相談できないという話を聞く。」といった保護者の声を聞くことがある。今以上にアナウンスを増やすといいと思う。</p>		
		<p>②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p>	<p>4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満の教員が回答した。 2: 60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。</p>			<p>4</p>			<p>3: 80%以上</p>		B	<p>・保護者との連携を一層深めることで、家庭と学校が協力したいじめ防止につながると思います。</p> <p>・いじめの事件がニュースでも多く取り上げられています。児童一人ひとりの少しの変化を早く気付くためにも、先生と保護者のつながりはとても大切だと思います。</p>	
		<p>③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>						<p>3</p>		<p>2: 70%以上</p>	C	<p>・学校における様々な問題、特に「いじめ防止基本方針」に沿って、未然防止、早期発見、対応を実施し、一人の遅れの児童も出さないよう万全の体制を実施している内容は、普段、学校公開授業・運動会・その他イベント等の教職員の皆様を見ていると本当によく分かります。公開授業・運動会・その他イベント等の教職員の皆様全員が頑張っている実態が素晴らしいと思います。</p> <p>・いじめを未然に防ぐ取組と適切な対応をして、再発防止に努める努力に感謝します。</p> <p>・保護者を含め多様な考え方がある中で、様々な取組により支援が行き届いている。</p>
		<p>④様々な要因で学校には通えるが教室には入れず、授業に参加できないなど、不登校の兆候が見られる児童や個別の配慮が必要な児童の居場所を校内につくり、自分に合ったペースで学習・生活できる環境を整えている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>								<p>3</p>	<p>1: 70%未満</p>	D
<p>安柔個 心軟別 なで目 教創標 育造6 環的 境なを 学習 空間と 安全</p>	<p>学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。</p>	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>3</p>	<p>以下の保護者アンケートから評価する。</p> <p>&lt;保護者アンケート&gt; 「学校は、訓練等を通じて、安全や防災について、指導している。」の質問に肯定的な回答の割合</p>		<p>4: 90%以上</p>	<p>4</p>		<p>・保護者アンケートの肯定的な回答の割合……99.3%</p> <p>・毎月の避難訓練だけでなく、日頃の防災教育にも力を入れていく。</p> <p>・避難訓練の想定内容や児童の避難活動に改善を通して、防災教育の充実を図っていく。</p> <p>・地域における防災活動の拠点となれるよう、今後も地域と協力するとともに、関係機関と連携を図っていく。</p>		A	<p>8</p>
		<p>②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>			<p>4</p>	<p>3: 80%以上</p>					B	
		<p>③WBGTの指標や熱中症警戒アラート等の様々な情報を基に、その都度適切な判断をして児童の安心・安全な環境を整えている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>				<p>4</p>		<p>2: 70%以上</p>			C	
									<p>1: 70%未満</p>		D	<p>・保護者アンケートの回答からも分かる通り、児童が安心して学校生活を送れる環境が整っている。</p> <p>・古い施設ながら、みんなで工夫と手入れをしていて、とてもよいと思います。</p>	

学地学個 校域校別 をコ・目 つミ家標 くり庭フ リニ・地 まテ域 すイ域 のの 核連 と携 して 協働 による	地域コミュニティ の核としての学 校づくりや地域の 特色を生かした 学校づくりを進め るとともに、学校・ 家庭・地域が連 携・協働して、地 域社会全体でこ どもたちを育成し ます。	①「地域コミュニティの核としての 学校づくり」を目指して地域と学校 が連携・協働した様々な活動を実施 している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し た。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し た。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。	3	以下の保護者アンケー トから評価する。  <保護者アンケート> 「学校は、地域と連携 して教育活動をしてい る。」の質問に肯定的 な回答の割合	4: 80% 以上	・保護者アンケートの肯定的 な 回答の割合……96. 6%  ・授業や防災活動等にお いて、地域が有する人や 自然、文化等の多様な教 育財産を生かしながら、 今後も教育活動に生かし ていく。 ・コミュニティ・スクールと して、学校運営協議会 の中で学校課題を熟議し、 関係者と協働しながら解 決を図っていく。	4	A	9	・PTAとしましても、見守り活動の強化等により子どもたちの安心・安全へ貢献したり、 サークル活動等を通して、子どもたちへ多様な経験を提供できればと考えております。 引き続き、連携のほど、よろしく願いいたします。 ・本シートの回答につきまして、可能であれば電子ファイルへの入力とさせていただき ますと、今後ありがたく存じます。  ・各学年ごとにどのような連携・協働が考えられるのか、また望まれるのか、先生から 意見を伺ってみたい。					
		②登下校の見守り活動等の、児 童・生徒の健全育成や安全指導に 係る取組を地域の協力により実施 している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し た。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し た。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。	3		3: 70% 以上			B	1	・③に関して、どのような内容の講演会・学習会だったのか知りたいです。  ・今後も地域との情報共有を大切にし、協働によるより良い学びの環境づくりが進むこ とを期待します。  ・地域住民として、登下校の見守りに協力していきたいと思います。					
		③家庭教育に関する情報の発信 やPTAなどと連携した講演会・学 習会、またはその双方を実施して いる。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答し た。 2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答し た。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満で あった。	3		2: 60% 以上			C		・学校(小・中・高)との平日頃の他方面にわたりコミュニケーションをもち、互いに助け 合い、協力し合う関係を長きにわたって実施してきています。よって、コミュニティ・ス クールや各種問題点、懸案事項も定期的打ち合わせ会で行っております。結果、学校 関係は非常によい関係で活動させていただいております。学校では広報誌にも力を 入れていただいております、学校だより、PTAだよりも素晴らしいものができあがっており ます。その他、数々の取組が見事に行われています。  ・地域の行事にたくさんの児童が参加され、上下関係等の大切さや共同作業でのカ レー作り等、楽しんでくれています。					
						1: 60% 未満			D		・学校と地域の協力・連携ができており、また関係性も良好である。そのため、学校と 地域に一体感がある。学校防災活動拠点訓練などにおいて、一層の協力・連携を期 待する。  ・地域をよく理解していただき、PTAともよい関係をつくり、ありがとうございます。					

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。